

2025年度(後期)MSLC プロジェクト発表会報告書

1月22日(木)にSAKURAU3Fにて、MSLC(数理学習センター)プロジェクト発表会を開催しました。今回は、最初に「MSLC プロジェクト」とは何か、という説明を行いました。それは、MSLC で毎学期発表会を実施する意義を理解してもらいたいというチューターの強い思いでした。「MSLC プロジェクト発表会」は、学習支援に関する計画から実践、改善を繰り返して、その成果と課題を報告し、チューターの自己評価だけでなく、組織外からの評価も含めた「MSLC プロジェクト」のプログラムの一環だからです。

チューターが考えるMSLCの強みは「チーム力」と説明していました。それは、先輩チューターから受け継いだ「MSLC ダイアログ」の成果だと考えています。「MSLC ダイアログ」とは、ミーティングだけではなく、日頃の業務においても積極的にコミュニケーションを取り、チュータリングの実践や学生としての困りごとについても気軽に情報交換ができる雰囲気づくりを全員が意図的に行うことです。

また、それぞれのチームの活動について、計画・実践・評価・改善をまとめ、データを可視化する作業工程で、チューターが楽しみと達成感をもって取り組んでいることが、チューターのモチベーションアップに大きく貢献しているということがMSLC発表会開催の大きな意義となっています。

今回は新規チューター5名、継続チューター10名、計15名全員で延べ949回(実人数141名)の学習支援を行いました。業務の効率化を図りつつも、あえて統計学の対面でのチュータリングを復活させる等、チューターにとって効果的な支援づくりを模索しているようです。発表会では、課題を見つけて改善策を講じるトレーニングにより社会人基礎力を向上させるなど、チューターのやりがいと成長にも触れていました。

本発表会には、教職員9名、学生及び卒業生11名(オンライン参加含む)計20名の参加がありました。

ご多忙の中、発表会にご参加いただきました皆様ありがとうございました。今後とも、引き続きMSLC学習支援へのご理解とご助言を賜りますようよろしくお願い申し上げます。皆様のチューターへの評価及びお寄せいただきましたコメントは、チューターへの激励と新たなエネルギーへと変わる貴重なメッセージだと受け止めております。心より感謝申し上げます。

★ 発表会に参加した教職員・学生等からのフィードバック

1. 教員からの感想及びメッセージ

○皆さんの学びが、単に「楽しい」から「うれしい」へ、そして「感謝」へと、確かに深まっていることを感じました。最初は、チュータリングそのものの楽しさや、人と関わる面白さが出発点だったと思います。しかし発表では、問題理解から振り返りまでを意識した支援、ダイアログやアサーティブコミュニケーションの継続的なトレーニング、3人ロールプレイによる相互学習など、簡単ではない工夫と努力の積み重ねが具体的に示されていました。だからこそ、「できた」「成長した」という実感に裏打ちされた「うれしさ」が生まれているのだと思います。

さらに印象的だったのは、個人の成長にとどまらず、リーダー育成、OJTによる新規チューター支援、仕事を任せる仕組み、報連相やフィードバックの徹底、RPDCAによる運営改善など、自分一人ではなく、支え合いの中で学習センターを成り立たせようとする視点が共有されていた点です。学習成果のデータ分析や、利用者の基礎力の底上げが確認されたことも、その協働の成果だと言えるでしょう。

こうした経験を通して生まれるのが、「自分の努力だけではなく、周囲の支援やチームのおかげでここまで来られた」という「ありがとう」という感謝の気持ちだと思います。

これは、知識や技術以上に、変化の激しい社会で学び続け、他者と協働していくための大切な土台になります。

本日の発表は、学習支援の成果報告であると同時に、皆さん自身がどのように学び、成長してきたかを示す記録でした。この経験を、ぜひ次の学び、次の支援、そして次のチューターへとつないでいてください。

来年度もよろしくお願いいたします。

2025年度後期 MSLCプロジェクト発表会



今期メンバー
継続：10人
新規：5人

データ資料



アンケート



数理学習センターとは

Mathematical Science Learning Center





“学び”と“支援”の場
もう一つの教室!



プロジェクト発表会とは

役割

- ・活動報告
- ・先生方や外部の方に向けた、活動内容の共有

チューターにとっても意義がある!

①半年の振り返り



活動内容の見直し

②来期の活動指針



次の目標を考える

MSLCの活動とR-PDCAサイクル

RESEARCH
調査



プロジェクト発表会
成果と課題の発見

➔

来期の業務計画
運営業務、連携科目の目標・実行

仕事を任せることが大切な理由

失敗を経験できる

- ・失敗から学び、そこから学んだことを明確にする
- ・失敗をきっかけにリサーチ行動を促す

→最も価値のある「学びの通過点」

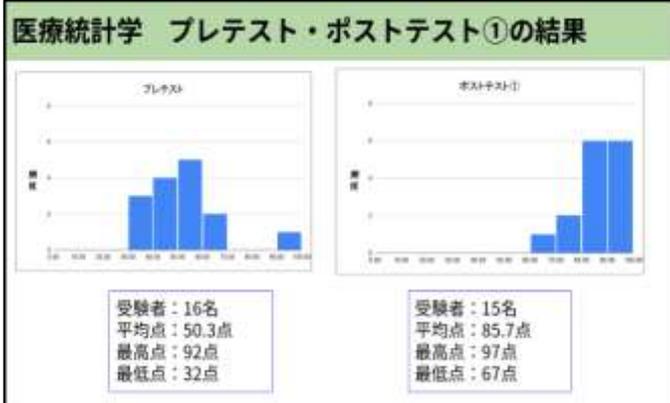
失敗のほうが4倍も学びが深い!

仕事をどんどん任せて、失敗を経験させる→相手が成長する!

練習記録 リーダーの「任せ方」の巻 (2025) 明日香

2025年度後期利用者統計 (2025.9.30~2026.1.16)

学部	学科	延べ人数					実人数					平均回数
		1	2	3	4	合計	1	2	3	4	合計	
国際学部	国際文化	310	92	65	0	467	36	16	9	0	61	7.7
	観光産業	122	191	37	0	350	14	21	3	0	38	9.2
人間健康学部	スポーツ健康	28	0	0	0	28	4	0	0	0	4	7.0
	看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際学群	健康情報	34	70	0	0	104	21	17	0	0	38	2.7
	国際学群				2	2				1	1	2.0
合計		494	353	102	2	951	75	54	12	1	142	6.7



2. 今日の発表会で特に印象に残った発表、感想など

- 活動紹介、発表会資料等、準備が用意周到で感心しました。
- 皆さんが自分たちの言葉で、しっかりと発表されていたのが印象深いです。どれと言うことではないです。全部ですね。
- 仕事を任せることと丸投げの違い
- チューターとゲストの質問やり取り
- チューター自身の取り組みや、そもそもの報告会の意義や利用者統計、連携科目についての報告があり具体的な取り組みが明確で良かったです。
- チュータートレーニングの抜粋
- MSLC の活動状況がよくわかりました。学習支援を受けた学生の「生の声」、MSLC に何を求めているのか、等が分ると、さらに次の活動につながるのではないかと思います。
- データを用いて発表していてすごいなと思った。スライドの作成の仕方も参考になるものが多かった。
- 一人一人がきはきとした説明を意識しており、聞いていて分かりやすかった。また、難しい内容をより分かりやすくする事に尽力していた姿勢が伝わった。
- 実際に行ったプレゼンの内容を説明してくれていたのが分かりやすかったです。これからも頑張ってください！ありがとうございました。

3. 統計学基礎の履修動機と履修して良かったと思うことは何ですか。(本番でスキップしたスライドより)

- 数学が苦手な方だったけど、苦手を少しでも克服したくて、生物や地学ではなく、統計学基礎を選択した。勉強する習慣がついた。
- 先輩から統計学基礎楽しいよと聞いて履修しました。落単するかもしれないけど、解けるようになった時の楽しみは忘れません。受講して良かったと思います。
- 動機は、基礎だから簡単そうだったからで、履修してよかったと思うことは、思ったより難しかったけど勉強すればできる内容だったから努力して報われた感が味わえる所。
- 友達に勧められて履修した。履修して良かった点は、計算能力が身についたのと、問いに対してどのようにしたら解けるかというのをより考えてできるようになった。
- 動機:私は数学ができないため、基礎から学ばないと授業についていけないと思ったから。
良かった点:いつも課題をやったりプリントをやったりしているため、中間テストや SPI をやった後の達成感が大きい。またやり遂げる力がついたこと。
- 統計学基礎を履修した理由は、数学がにがてなため、まずは基礎を固めようと思ったからです。
履修して良かったところは MS LC を利用することでより、理解が深められたところです。



報告 2026年2月3日(火) 高安美智子(数理学習センター長)